

当院で経験した Cronkhite-Canada 症候群の検討

情報公開文書

日本赤十字和歌山医療センターでは、以下にご説明します研究を実施します。この研究への参加を希望されない場合は、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。またお申し出された場合でも、いかなる不利益を受けることはございませんので、ご安心ください。

研究目的

■概要

本研究を実施することに伴う医療行為はない。Cronkhite-Canada 症候群 (CCS) は世界でも 500 例と稀な疾患であり、そのうち 75%が本邦から報告されている。2003 年から 2020 年の間に当院で経験した 7 例を対象とし、以下について検討した。検討①: CCS 患者の臨床症状 (下痢・脱毛・皮膚所見)、②消化管ポリポシスの性状・分布などの内視鏡的特徴。

1. 研究の背景

CCS は世界でも 500 例と稀な疾患であり、そのうち 75%が本邦から報告されているが、まとまった検討の報告はない。

2. 研究の目的および意義

【目的】 CCS の臨床症状 内視鏡所見の評価と治療後の評価をすること

【意義】 CCS の診断は特徴的な臨床症状がみられれば難しくないが、病初期にはみられないこともしばしばあるため、診断に難渋することも少なくない。一方で、早期に診断できれば、治療により寛解までの期間を短縮できる可能性もある。本研究により臨床病理学および内視鏡的特徴を共有する。

研究の対象となる方

本研究では、2003 から 2020 年の間に日本赤十字社和歌山医療センター消化器内科で CCS と診断を受けた患者を対象とする。

研究の方法

電子カルテを使用して、匿名情報に加工したカルテ・データを使用します。このデータをもとに、臨床症状・内視鏡所見、治療後の変化を検討した

使用する情報および個人情報の保護

患者さん個人番号（ID）と氏名が含まれていない状態で、電子カルテからデータを抽出します。また研究用パソコンは、インターネットにつなぎません。論文化から 10 年程度データを保存しますが、その後に適切にデータを破棄します。

研究資金・利益相反について

該当する利益相反はなく、研究資金は日本赤十字社和歌山医療センターから提供されません。

研究計画書などの入手・閲覧方法・手続き

研究計画書などは入手閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

個人情報の開示にかかる手続きについて

ご自身の情報を閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

研究責任者

下山 雅之 日本赤十字社和歌山医療センター 消化器内科 医師

共同研究者

岩上 裕吉 消化器内科 副部長

赤松 拓司 消化器内科 部長

山下 幸孝 消化器内科 院長

お問い合わせ先

日本赤十字社和歌山医療センター 総務課

電話 073-422-4171（代表電話）

所在地 〒640-8558 和歌山市小松原通 4-20